

～地道な活動が実を結びました！～

# 磯子台団地で新たな路線バスの運行開始

磯子区磯子台団地地区では、磯子台団地地域交通協議会(※1)を設立し、京急バス能1系統の延伸を目指し、協議会、バス事業者、横浜市の三者による検討を重ねてきました。

このたび、3年間にわたる活動が実を結び、12月16日(月)より実証運行を開始します。

## 1 背景

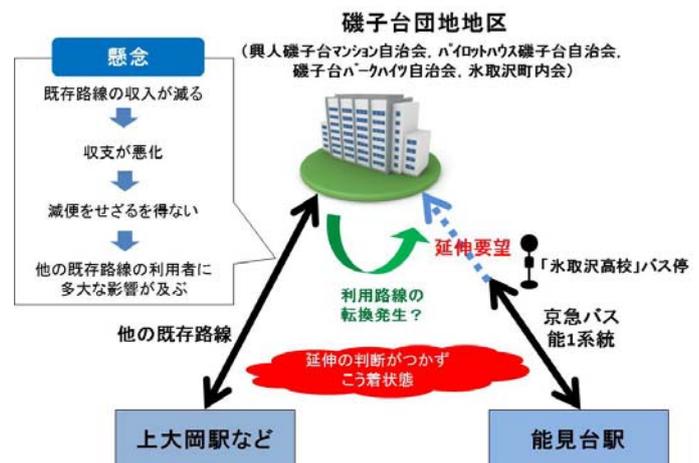
磯子台団地(昭和50年代に入居開始)には、上大岡駅行きなどのバス路線はありますが、運行距離が長く、所要時間を要するなどの不便な面がありました。一方、直近の鉄道駅である能見台駅へのバス路線は手前の氷取沢高校までとなっていました。

その一方で、地区の高齢化が進み、気軽に外出する手段の確保が重要となり、能見台駅へのバス路線の開設に対するニーズが高まっていました。

## 2 磯子台団地への乗り入れにあたっての課題

今回の路線延伸にあたっては、能見台駅へのバス路線開設ニーズの高まりを踏まえ、協議会自らが、その実現に向けて、単にバス事業者に要望をするのではなく、横浜市の「地域交通サポート事業」(※2)の活用について、直接道路局に相談を持ちかけたことから始まりました。

しかし、バス事業者は、延伸に伴って、他の既存路線における減便など、多くの利用者に影響が及ぶ可能性も考えられることから、延伸の判断を行うことが難しく、地元要望に応えられない状況になっていました。(右図参照)



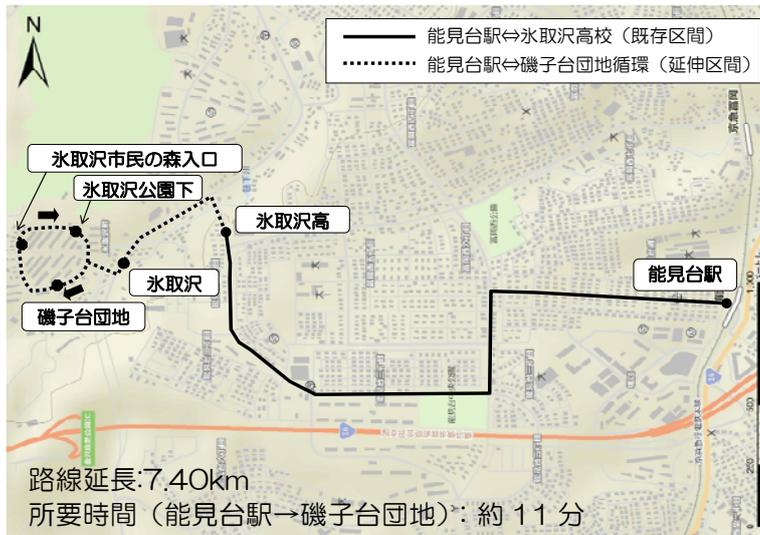
協議会はバス事業者側が抱える事情を踏まえつつ、延伸に伴う新たな需要や、延伸路線への転換需要の推計などを把握するアンケートを実施した結果、60%を上回る高い回収率となりました。

このような地域の熱い思いやアンケートにより推計された定量的なデータがバス事業者を動かし、総合的な判断がなされた結果、京浜急行バス能1系統の路線延伸(延伸後は能3系統として運行します)による磯子台団地への乗り入れが実現します。

# ～実証運行について～

## 1 実証運行の概要

運行ルート	能見台駅～磯子台団地～能見台駅（循環）
運行期間	平成25年12月16日から平成26年2月15日まで（2月16日から引き続き本格運行予定）
運賃	大人210円、小人110円（パスモ等の交通系ICカード使用可）
運行時間、本数	午前10時台～午後4時台 7本/日
運行事業者	京浜急行バス株式会社 （横浜京急バス株式会社に運行委託）



## 2 運行開始セレモニーとバス試乗会について

運行開始を記念して「セレモニー」と「バス試乗会」が開催されます。

日時：平成25年12月15日（日） 11時30分～12時20分（小雨決行）

場所：「磯子台団地」バス停脇 興人磯子台マンションK4棟入口付近

主催：磯子台団地地域交通協議会

当日のスケジュール

- ・来賓挨拶 11時30分～
- ・花束贈呈及びテープカット 11時40分～
- ・バス試乗（磯子台団地～能見台駅～磯子台団地）  
11時50分～

(※1)

磯子台団地地域交通協議会	
【平成24年5月9日 地域まちづくりグループ登録】	
会長	興人磯子台マンション自治会（相談役）
副会長	水取沢町内会（会長）
副会長	パイロットハウス磯子台自治会（会長）
理事	磯子台パークハイツ自治会（会長）
会計	磯子台パークハイツ自治会（前会長）
監事	興人磯子台マンション自治会（会長）
監事	水取沢町内会 会員

先着100名に記念品が進呈されます。また、バスの試乗は30名となります。

セレモニー並びにバス試乗会の取材につきましては、事前連絡は不要です。直接会場にお越しください。

(※2)

## ～地域交通サポート事業とは～

既存のバス路線がない地域などで、住民の方々が集まり、生活に密着した交通手段の導入に向けた取組が地域主体でスムーズに進むように、運行に至るまでの事業の立ち上げに対して支援を行う事業であり、他都市におけるいわゆる「コミュニティバス」とは異なり、本格運行に対しては行政からの財政支援は行いません。

そのため、本格運行後も多くの方が利用し、将来にわたって安定した運行となるために、地域の主体的な活動と盛り上がりが何よりも重要となっています。

お問合せ先	
道路局企画課交通計画担当課長	清水 裕之 Tel 045-671-2755
磯子区区政推進課長	青木 幸雄 Tel 045-750-2330